

家庭科教育研究所 第8回勉強会のお知らせ

シリーズ「世界の家庭科教育」として、アジアのいくつかの国の家庭科教育について取り上げてきましたが、シリーズ5回目となる今回は、日本の小学校の家庭科の実践紹介をしていただきます。講師は会員の佐藤翔さんです。

貴重な学び合いの機会になることを期待して、多くのみなさんの参加をお待ちしています。

- ▶ 日時： 2024年6月8日（土）16:00～17:30
- ▶ 場所： オンライン
- ▶ 講師： 佐藤 翔 先生（千葉市立作新小学校）
- ▶ 題目： 「学びたいという思いをもたせ、地球市民として育てる家庭科授業」
- ▶ 要旨： 家庭科では調理ができるから好きであるという児童は多い。しかし一方で家庭科に慣れていない教員の授業で「ほうれん草を茹でることは習ったがキャベツは茹でられない」と家族に伝えた児童がいたという話を聞いた。つまり、本来の学びはどの教科も楽しいものであるが、楽しいだけで学びにならない、所謂「活動あって学び無し」という実践も少なくないという家庭科の課題も示している。
「楽しい」ではなく「学びたい」と思うにはどうしたらよいか、多様性の中の学びはどのような方向性のもと小学校で設定できるかということを実践からお伝えする。

会員のみなさまには、開催日の数日前に zoom 情報をお知らせします。参加ご希望の方は、そこに示した URL からお入りください。後日、動画配信をします。当日の参加が難しく、ご興味のある方はそちらを視聴してください。



佐藤 翔（さとう かける）

1984年千葉県生まれ。実家で一人暮らしをした受験生生活を機に家庭教育・家庭科教育に目覚める。家庭も仕事にも満足する、家庭科におけるキャリア教育の必要性を広めるべく、「家庭科で子どもの将来の家族をつくる」をテーマに活動・研究している。

単著に『指導スキルから面白アイデアまで 小学校家庭科の授業づくりテキスト』、共著に『授業をアクティブにする！ 365日の工夫 小学6年』（以上明治図書）など多数。小学校家庭科教科書作成委員、公認心理師、学校心理士、家庭と学校をつなぐ教材提

供・カウンセリング・セミナーを企画する NPO Familai 家庭・家族のミライ研究協会 理事長。